

重要取組シート

| 取組項目 | 不登校のこどもの学びとつながり | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|--|---------|--|---------|---|---------|--|-------|-------|---------|-------|-------|---------|---------|---------|
| 現状・課題 | ○本市の不登校児童生徒数の推移について | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 小学校 | <table border="1"> <thead> <tr> <th>令和 2 年度</th> <th>令和 3 年度</th> <th>令和 4 年度</th> <th>令和 5 年度</th> <th>令和 6 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>537 人</td> <td>632 人</td> <td>811 人</td> <td>954 人</td> <td>1,058 人</td> </tr> <tr> <td>768 人</td> <td>878 人</td> <td>1,144 人</td> <td>1,197 人</td> <td>1,241 人</td> </tr> </tbody> </table> | 令和 2 年度 | 令和 3 年度 | 令和 4 年度 | 令和 5 年度 | 令和 6 年度 | 537 人 | 632 人 | 811 人 | 954 人 | 1,058 人 | 768 人 | 878 人 | 1,144 人 | 1,197 人 | 1,241 人 |
| | 令和 2 年度 | 令和 3 年度 | 令和 4 年度 | 令和 5 年度 | 令和 6 年度 | | | | | | | | | | | | |
| | 537 人 | 632 人 | 811 人 | 954 人 | 1,058 人 | | | | | | | | | | | | |
| | 768 人 | 878 人 | 1,144 人 | 1,197 人 | 1,241 人 | | | | | | | | | | | | |
| 中学校 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○不登校児童生徒は増加傾向にあり、こどもが抱える課題の多様化に対応するために、複数の主体が協働して課題解決に取り組む、地域社会全体でこどもを支える体制の構築が求められている。そのため、学習機会の確保や外部とのつながり等の支援を図り、関係機関等との更なる連携の強化が必要である。また、自身のクラスに入ることにはできないが別室であれば登校できる、登校はできないが学校外の施設であれば通うことができる、学校や学校外の施設に通うことはできないが外出はできる、外出することも難しいなど、個々の状況は様々であり、児童生徒の状況に応じた多様な学びの機会を確保することが必要である。 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○近年の国や本市の動き、取組について | <table border="1"> <tbody> <tr> <td data-bbox="426 1014 663 1162">令和 4 年度</td> <td data-bbox="663 1014 1493 1162"> <ul style="list-style-type: none"> 生徒指導提要改訂（文部科学省） 誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策（COCOLO プラン）策定（文部科学省） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="426 1162 663 1258">令和 5 年度</td> <td data-bbox="663 1162 1493 1258"> <ul style="list-style-type: none"> 本市立学校に在籍する不登校児童生徒の状況を把握するため、「不安や悩み等に関するアンケート調査」を実施 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="426 1258 663 1406">令和 7 年度</td> <td data-bbox="663 1258 1493 1406"> <ul style="list-style-type: none"> 本市立学校に在籍する不登校児童生徒に必要な支援を把握するため、「登校しづらい（登校しづかった）児童生徒に対する支援に関する実態調査」を実施 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="426 1406 663 1742">令和 8 年度</td> <td data-bbox="663 1406 1493 1742"> <ul style="list-style-type: none"> 教育委員会事務局の複数部署で取り組んでいた不登校支援を一元化し、生徒指導課に不登校対策担当課長を配置 生徒指導主事 5 名増員（小 25 校、全中 専任配置） スクールカウンセラー 8 名増員（小 39 校、全中・高 配置） 教育支援教室入室対象学年の拡充（小学校及び中学校の全学年を対象） スペシャルサポートルーム支援員 6 名新規配置（モデル実施） </td> </tr> </tbody> </table> | 令和 4 年度 | <ul style="list-style-type: none"> 生徒指導提要改訂（文部科学省） 誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策（COCOLO プラン）策定（文部科学省） | 令和 5 年度 | <ul style="list-style-type: none"> 本市立学校に在籍する不登校児童生徒の状況を把握するため、「不安や悩み等に関するアンケート調査」を実施 | 令和 7 年度 | <ul style="list-style-type: none"> 本市立学校に在籍する不登校児童生徒に必要な支援を把握するため、「登校しづらい（登校しづかった）児童生徒に対する支援に関する実態調査」を実施 | 令和 8 年度 | <ul style="list-style-type: none"> 教育委員会事務局の複数部署で取り組んでいた不登校支援を一元化し、生徒指導課に不登校対策担当課長を配置 生徒指導主事 5 名増員（小 25 校、全中 専任配置） スクールカウンセラー 8 名増員（小 39 校、全中・高 配置） 教育支援教室入室対象学年の拡充（小学校及び中学校の全学年を対象） スペシャルサポートルーム支援員 6 名新規配置（モデル実施） | | | | | | | | |
| 令和 4 年度 | <ul style="list-style-type: none"> 生徒指導提要改訂（文部科学省） 誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策（COCOLO プラン）策定（文部科学省） | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 令和 5 年度 | <ul style="list-style-type: none"> 本市立学校に在籍する不登校児童生徒の状況を把握するため、「不安や悩み等に関するアンケート調査」を実施 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 令和 7 年度 | <ul style="list-style-type: none"> 本市立学校に在籍する不登校児童生徒に必要な支援を把握するため、「登校しづらい（登校しづかった）児童生徒に対する支援に関する実態調査」を実施 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 令和 8 年度 | <ul style="list-style-type: none"> 教育委員会事務局の複数部署で取り組んでいた不登校支援を一元化し、生徒指導課に不登校対策担当課長を配置 生徒指導主事 5 名増員（小 25 校、全中 専任配置） スクールカウンセラー 8 名増員（小 39 校、全中・高 配置） 教育支援教室入室対象学年の拡充（小学校及び中学校の全学年を対象） スペシャルサポートルーム支援員 6 名新規配置（モデル実施） | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 取組の内容 | <p>不登校児童生徒の状況は様々であるため、学校に通うことだけが学びの形ではなく、それぞれの心身の状況や成長段階に応じた学び方や居場所の選択ができる環境を整備するなど、こどもの選択肢を広げることが大切であるとの認識のもと、以下の取組の実施や検討を進める。</p> <p>○不安や悩みの早期発見、軽減、解消</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー等の専門家による個々に応じた支援 ・SNS 等を活用した相談窓口の設置 | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | |
|--------|-------------|---|
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣の改善に向けた睡眠教育（みんない）の実践 <p>○それぞれのこどもが安心できる居場所の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育支援教室での支援（週 5 日開室 3 か所、週 2 日開室 1 か所） ・自身のクラス以外で過ごしたいと思う児童生徒を支援するための特別な教室であるスペシャルサポートルームで児童生徒の学習支援等を行う支援員を 6 名配置（モデル実施） ・区役所が実施する「こどもの居場所」の取組との連携 ・メタバース空間を活用した実証事業の実施 <p>○多様な実施主体との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市長事務部局と連携した不登校児童生徒への支援 ・堺市不登校支援ネットワーク連絡協議会の開催 ・不登校児童生徒の保護者同士のつながりをつくるイベント等の開催 <p>○支援体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全中学校及び小学校 25 校に生徒指導主事を専任配置 ・専門家チーム（いじめ巡回相談員や臨床心理士、社会福祉士、弁護士等）を派遣し、いじめ・不登校等に対する児童生徒の背景等を踏まえた指導助言 ・不登校支援施策のあり方の検討 |
| スケジュール | 前期 (~9月) | <input type="checkbox"/> 予防と育成の生徒指導支援システム会議（生徒指導担当者、不登校担当者を対象とした研修）の実施（4月） <input type="checkbox"/> 堺市小・中学校生徒指導研究協議会の開催（5月） <input type="checkbox"/> みんないフォーラムの実施（5月） <input type="checkbox"/> 堺市不登校支援ネットワーク連絡協議会の開催（6月） <input type="checkbox"/> みんないリーダー研修の実施（7月） <input type="checkbox"/> 堺市小・中学校生徒指導研究協議会の開催（8月） |
| | 後期 (~3月) | <input type="checkbox"/> 予防と育成の生徒指導支援システム会議（生徒指導担当者を対象とした研修）の実施（10月） <input type="checkbox"/> みんないリーダー研修の実施（11~12月） <input type="checkbox"/> 堺市小・中学校生徒指導研究協議会の開催（2月） <input type="checkbox"/> 堺市不登校支援ネットワーク連絡協議会の開催（2月） <input type="checkbox"/> みんない実践成果報告会の開催（2月） <input type="checkbox"/> 教育支援教室保護者会の開催（3月） |
| | 次年度以降 | |

| | | | |
|------------------|--------------------|---|-------------------------------------|
| 進捗の状況 | 前期 (～9月) | | |
| | 後期 (～3月) | | |
| 2030 堺市基本計画 | 該当する 施策 | 3- (3) 多様性を尊重した教育の推進 | |
| | 寄与する KPI | 「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う（当てはまる・どちらかといえば当てはまる）と答えた児童生徒の割合 現状値（2025年度） 小6 78.0% 中3 76.6% | 目標値（2030年度） 小6 85.0% 中3 83.0% |
| 未来都市計画 堺市SDGs | 最も貢献する SDGsのゴール | ゴール番号 4 | 質の高い教育をみんなに |
| | 寄与する KPI | — | |
| | | 目標値（2030年度） — | |